

がん医療  
推進委員会  
だより

「がん診療推進委員会」改め「がん医療推進委員会」が発足しました

救命救急医療のイメージの強い当病院ですが、がんの治療についても五大がん(肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん)と膀胱がんを中心に年間約700例の新規のがん患者様に對して治療を行っています。がん治療を行っていくにあたっては手術、薬物療法、放射線療法といった病氣に對する最新、最良の治療を行うことはもちろんですが、患者様に安心して治療を受けていただくために、病氣の進行度や体の状態、また個々の生活環境に応じて、がん治療中に生じるさまざまな状況に對するサポートの提供も必要となつてきます。そのためには医師のみならず、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士、社会福祉士、医療事務職など、がん治療に関わるすべてのスタッフが緊密に連携してチーム医療体制で取り組む必要があります。

今年度の当病院の運営方針に、患者サポート体制の推進とがん医療提供体制の拡充というものが示されました。これまで当病院のがん治療に関する委員会組織としては、「がん診療推進委員会」がありましたが、今年度の方針を進めるにあたって、主に医師による診察や治療の意味合いを持つ「診療」という言葉を改め、医師と共に多職種医療スタッフが各々の専門性を生かし、チームで連携してがん患者さんに対応するという意味合いを持つ「医療」という言葉に変更し、名称を「がん医療推進委員会」として新たにスタートしました。さらに

委員会の目的、活動方針、構成委員もすべて新して、地域住民から信頼されるがん医療、患者様が安心と満足の得られるがん医療を提供することを目的に委員会内の7つのワーキンググループを中心に活動を開始しています。

ウイズコロナといわれる時代にあっても、がん患者様に對する治療は決して緩めることなく、確実に行っていくかなければなりません。厳しい状況下にあっても、がん医療に對する地域のニーズにしっかりと応えるべく、委員会を中心にチーム丸となつて取り組んでいきたいと思

います。

副院長 兼 がん医療推進委員会委員長 藏下 要

浦添総合病院の目指すがん医療  
～基本理念～

- ・優しさと思いやりのあるがん医療
- ・徹底したチーム医療
- ・Total Patient Support

がん医療基本方針

- 1) 地域のニーズに応えるがん医療
- 2) 高水準のがん医療を提供
- 3) 全人的ながん医療(心と体を切り離すことのないがん医療)、患者さんとのコミュニケーションを重視した医療
- 4) たとえがんになっても安心して当たり前の生活ができるがんサポート体制の構築

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2020沖縄うらそえ」参加報告



リレー・フォー・ライフ(RFL)は、がん患者様やそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すことを目的としたチャリティー活動です。世界の30カ国で開催され、日本では日本対がん協会が事務局となり全国約50カ所で開催されています。

このイベントには3つのテーマがあります。①Cerebra(祝う):がん告知を乗り越え、今を生きるサバイバーやその家族を讃える ②Remember(しのぶ):がんで亡くなった愛する人を偲び、追悼する ③Fight back(立ち向かう):がん征圧(せいあつ)活動や患者支援のため募金活動を行い、がんを負けない社会をつくるというものです。またイベントの内容は、(1)チームでタスキをつないで夜通し会場内を歩くリレーウォーク (2)がんで亡くなった方々を偲び、がんと闘っている人たちを励ますルミナリエ セレモニー (3)がんに関する情報の普及、啓発をメインとし、サバイバー(がん経験者)、ケアギバー(家族や医療者などの支援者)、地域の一般住民が参加して行われます。ここ沖縄では6年前より、浦添市てだこ広場で毎年11月に24時間イベントとして開催されており、当病院もこのイベントに協力しています。

今年は新型コロナの影響で全国のRFLと同様、沖縄も例年通りの会場での開催は断念しましたが、イベント自体は何らかの形で開催を望む多くの皆さんの声がありました。そこで今年は新たな試みとして、(1)リレーウォークに

ついては日本対がん協会が提供するセルフウォークという、アプリを使った全国のRFL共通のシステムに参加しました。(2)ルミナリエセレモニーは浦添市西原自治会公民館の中庭をお借りして、ピアノとバイオリンの生演奏をBGMに幻想的な雰囲気の中で行われ、その模様をYouTubeで生配信しました。(3)また情報発信は「リレーフォーライフジャパン2020沖縄うらそえ from FM21」と題して、11月14日(土)の夜から15日(日)のお昼までトータル11時間にわたり、FMラジオを通してサバイバーの声やがん治療に関するさまざまな情報(がん薬物療法、マインドフルネス、がん治療と就労、がんピアサポート相談室、癒しのヘッドセラピー)をお届けしました。RFLに関する詳しい説明や今回の沖縄でのイベントの内容についてはHP上ですべてご覧いただけます(<https://relayforlife.jp/urasoe/> または「RFL 沖縄うらそえ」で検索)。

今や日本人の二人に一人ががんに罹患するという時代です。このRFLの活動が広く認知され、この活動に對する理解と支援の輪が沖縄で広がっていくことを願いたいと思います。



副院長 兼 乳腺センター長 藏下 要